

今も活躍している 龍と9匹の息子達

補陀洛山総持寺には、多くの龍と9匹の息子達があります。
どこにいるかを参拝した時に注視しましょう。

竜生九子とは、中国の伝説上の生物で、竜が生んだ九匹の子を言います。
それぞれ姿形も性格も異なっています。各々の性格に合わせた場所で各々の活躍を見せるが、親である竜になることはできなかったという。

これを「竜生九子不成竜」と言う。また、兄弟でも性格が違う事を指してこの言葉を用いる事もある。

竜生九子という言葉は古くからあったが、生んだ子がどのようなものだったのかはずっと語られなかった。

明の時代になりさまざまな書物に記載されるようになったが、記載されている書物によって名前・順序が異なります。

『升庵外集』（楊慎、1488-1559）と『天禄識余』の説により、次の9匹で説明します。



1. 長男 鼯肩（ひき）

形状は亀に似ている。重きを負うことを好む。

「鼯」は「貝」が三つで、これは財貨が多くあることを表したもの。「この財貨を多く抱える」が、「大きな荷物を背負う」を経て、「盛んに力を使う」「鼻息を荒くして働く」などの意味をもつようになった。



2. 次男 ち吻（ちふん）

鷗吻(しふん)とも表記される。形状は獣に似ている。遠きを望むことを好む。

遠くを見ることを好むとされており、また一説では口に大量の水を含んでいるとされている事から、日本の鯨のモデルになったのではないかとされています。